

主催 林能楽会／株式会社唐紅

90分で能観劇「分かる面白さ」を届ける

鳥取でプチのう  
**TOTTORI de petit 能**

2022年7月16日（土）能「<sup>つちぐも</sup>土蜘蛛」公演



京都で400年以上の歴史を持つ観世流・林能楽会による能楽公演が鳥取市のとりぎん文化会館梨花ホールにて上演される。

プチのう  
Petit能シリーズは難しいと敬遠されがちな伝統芸能「能」の「分かる面白さ」を届けようと始まったもので、京都、東京に次いで鳥取で初めて開催される。

初めて能に出会う人、能初心者も気軽に楽しめるよう、丁寧な解説と能公演、合わせて90分間で観劇できるスタイルで、一般的な能公演よりリーズナブルに鑑賞できる。演目は視覚的演出も楽しい能「土蜘蛛」をお届けする。能楽師たちの軽妙でユーモア溢れる語りによりリラックスしながら、この夏初めての能体験で、日本の歴史と文化を感じてみてはいかがでしょうか。

また、前日15日（金）には、公益財団法人鳥取県文化振興財団による県内の高等学校・特別支援学校を対象とした「鳥取県芸術鑑賞教室」事業として能「<sup>ふなべんけい</sup>船弁慶」の公演が予定されている。

鳥取公演について、観世流能楽師・林喜右衛門（はやし きえもん）家14代当主 林宗一郎は、「鳥取は三つの流儀を愛好してくださる能楽の盛んな地。能楽に触れる機会がなかった方も、今回の公演を機に身近な芸能となることを願っている」と意気込みを語っている。

問合せ先：株式会社 <sup>からくれない</sup>唐紅

メール：contact@kara-kurenai.jp

電話：075-751-8158 携帯：090-8388-5018（9時～18時）

HP：http://hayashi-soichiro.jp/

## 企画概要

公演名	とっとり で プチ のう TOTTORI de petit 能
演目	能「土蜘蛛」他
主催者	株式会社 <small>からくれない</small> 唐紅
特別共催	公益財団法人鳥取県文化振興財団
企画	林能楽会
会場	とりぎん文化会館 <small>りか</small> 梨花ホール
日程	2022年7月16日（土）14時開演（13時開場／15時半終了予定）
チケット	1階：3,000円 2階：2,000円 大学生：1,000円引き 高校生以下無料 （大学生・高校生以下は入場時に要・学生証提示） 全席指定
予約方法	【電話】林能楽会：075-751-8158（月～金 9:00~17:00） 【HP】 <a href="http://hayashi-soichiro.jp/schedule/1930.html">http://hayashi-soichiro.jp/schedule/1930.html</a> 【会場】とりぎん文化会館
出演者	<small>みかたまどか</small> 味方團 <small>はやしそいちろう</small> 林宗一郎 <small>ありまつりょういち</small> 有松遼一 他

## 公演概要（あらすじ）

### 「土蜘蛛」

病気で伏せる みなもとのらいこう 源頼光の枕元にやってきた怪しげな僧。  
不審に思った頼光が誰かと問うと、僧は古歌を読んで返す。

「我が背子（せこ）が 来べき宵なり ささがにの」

それは古今和歌集の歌であった。

僧は、気づけば七尺(2m)の蜘蛛になり、頼光に襲いかかるが、  
頼光が名刀「ひざまる膝丸」で一太刀浴びせると、蜘蛛は傷を負いつつ消えてしまう。  
頼光の家来、ひとりむしや独武者は蜘蛛を退治するため、かつらぎやま葛城山に向かうのだった。

・・・「土蜘蛛」は蜘蛛の糸が見事に飛び交う、五番目物。目にも鮮やか、エンターテインメント性溢れる人気の能です。平安中期の武士で、源頼朝の祖先に当たる頼光は、鬼や妖怪退治に活躍する屈強な男として複数の書物に描かれています。鬼・妖怪退治とはなんだったのか？解説と能で立体的に物語を捉え、歴史的背景にも思いを馳せる90分です。

## 京観世・林能楽会 団体概要

400年の歴史をもつ「<sup>きょうかんぜ ごけんや</sup>京観世五軒家」林家の向かう新時代。  
能愛好家にも、初めて能に出会う方にも。  
選べる3種の公演スタイルで送る、月に一度の能の興行。

林能楽会は、京都で400年の歴史をもつ観世流の林家とその同門が運営する能楽会です。寛永2年（1625年）、初代が「喜右衛門（きえもん）」を名乗ったとされる当時から、林家は謡を指南する家として栄えてきました。徳川幕府成立に伴い、観世流宗家が京都から江戸に移る際、京都で謡を守り継ぐ「京観世五軒家」の一つとなり、以来、現当主林宗一郎に至るまで、活動を続けてきました。

また、大正9年（1920年）に十一世林喜右衛門<sup>ゆうげん</sup>幽玄<sup>ぶたいびら</sup>が舞台披きをした時から始まった林定期能も、2020年に100周年を迎えました。

「誰もが、能を観ることのできる場所を定期的に提供すること」

林能楽会は、その変わらぬ想いと皆様への感謝を胸に、次の100年に向けて、より多くの皆様に私たちの舞台をお届けし、お楽しみいただけるよう、月に1度、3つの異なるスタイルの公演を企画していきます。

### 1. 林定期能改め。「SHITE シテ。」

スタンダードな能公演。能2～3演目、狂言を含む4-6時間を要する上演スタイル。

### 2. 初心者向け「Kyoto de petit 能（京都でプチ能）」シリーズ

金曜夜、90分で能1演目のみを上演する。丁寧な解説で能の楽しさを気軽に体験できる。京都の他、東京、鳥取などでの公演も行う。

### 3. 特別な演目を上演する「宗一郎の会」

日本の誇る伝統芸能「能」を、次の世代へ。  
京都から全国へ、そして海外へと、誠実に丁寧に伝えて参ります。

どうぞご期待ください。

## 「TOTTORI de petit 能（とっとりでプチのう）」について

Petit能シリーズは「分かる面白さ」をお届けすることを旨とする定例公演。  
公演前後の「知りたい」「学びたい」に答える取り組みも充実。

### ここが魅力！

- ・初めての方にもわかりやすい演目をセレクト
- ・通常4～6時間（2演目以上）の能舞台を90分（1演目）で観能できる
- ・能楽師によるポイントを押さえた解説
- ・あらすじと解説を無料配布。装束名なども明記

### Youtubeで学ぶ

<https://www.youtube.com/channel/UCAMLcu-F1OHvTHrI6--pSMg/featured>（林宗一郎 Youtube）

【公演前】予習ができる事前講座の開講（装束の付け方や演目についての紹介）

【公演後】公演映像が後日ノーカット配信

\* 過去の能「土蜘蛛」公演映像はこちら↓

<https://www.youtube.com/watch?v=eqsN6R1PFEA>

### ホームページで学ぶ

<http://hayashi-soichiro.jp/>（林宗一郎HP）

【公演後】「林能楽部」で能演目のおさらいができる

<http://hayashi-soichiro.jp/nougakubu>

【いつでも】一人で学べる、能楽カラオケ「高砂」

<http://hayashi-soichiro.jp/takasago>

### HP内「林能楽部」



### Youtube事前講座



## 関連画像

1.



2.



3.



4.



5.



6. プチ能運営メンバー 能楽師シテ方



## 林宗一郎プロフィール



能楽師観世流シテ方。林喜右衛門家の十四代当主。  
現在、京都・東京・岡山・鳥取に稽古場を持ち、謡と仕舞の指南にあたる。

1979年京都生まれ。

父・故十三世林喜右衛門、及び二十六世観世宗家 観世清和に師事。

「鞍馬天狗」にて初舞台。

2011年 独立。

2012年「道成寺」披き、これまでに「乱」「石橋」「翁」「望月」「安宅」を披く。

2013年より能楽自主企画公演「宗一郎の会」を開催。

2014年 平成26年度「京都市芸術文化特別奨励者」の認定を受ける。

2017年 マレーシア国交樹立60周年記念公演にて「船弁慶」上演、

岡山では幻の能「吉備津宮」を復曲上演。

2020年 鳥取文化振興財団主催の梨花薪能にて能「小鍛冶」を勤める。

京都の歴史的建築を守り伝える活動にも力を注ぎ、歴史的建築・有斐斎弘道館にて定期講座「能あそび」、関西セミナー修学院きらら山荘内能舞台にて薪能を開催している。

京都観光おもてなし大使。

京都観世会理事、能楽協会京都支部所属。

2020年 重要無形文化財総合認定を受ける。

問合せ先：株式会社 からくれない 唐紅

メール：contact@kara-kurenai.jp

電話：075-751-8158 携帯：090-8388-5018 (9時～18時)

HP：http://hayashi-soichiro.jp/